allcinema

ジョーズ・リターンズ（1980）

THE LAST SHARK
THE GREAT WHITE
L'ULTIMO SQUALO

メディア 映画
ジャンル パニック　ホラー
製作国　イタリア／アメリカ
時間　88分
公開情報 劇場未公開・ＴＶ放映

【解説】
「ＪＡＷＳ／ジョーズ」の世界的ヒットは数多くの亜流作品を生み出したが、このマカロニ製はちょうど「ＪＡＷＳ／ジョーズ２」と「ジョーズ３」の間にあたる８０年に作られている。亜流品にしてはコンスタントな見せ場で飽きさせず、Ｅ・Ｇ・カステラッリもソツのない演出を見せる。ストーリーなんぞは本家と似たりよったりだが、さすがイタリア製、ヒロインかと思われた女の子がいきなり足を喰いちぎられるなど不必要な残酷描写には事欠かず、特に、ヘリで救助されかけた男性の真下からサメが浮上して下半身をバックリもぎり取るシーンなどは、その臆面もないサービス精神に頭が下がる思いだ。主人公のＪ・フランシスカスが、ピーター・ベンチリー（「ＪＡＷＳ／ジョーズ」の原作者）をモデルにしたような作家という設定も、あからさまに本家を意識してて面白い。ミニチュア・セットにサメを放して撮影したクライマックスもアイディア物。長らくＴＶのみの公開であったが、９７年夏に遂にビデオ化となった。「ジョーズ'９６／虐殺篇」と併せて観ると驚くはず。

【クレジット】

監督	エンツォ・Ｇ・カステラッリ	Enzo G. Castellari	
製作	マウリツィオ・アマティ	Maurizio Amati	
	ウーゴ・トゥッチ	Ugo Tucci	
製作補	サンドロ・アマティ	Sandro Amati	
原案	ウーゴ・トゥッチ	Ugo Tucci	
脚本	マーク・プリンチ	Marc Princi	
撮影	アルベルト・スパニョーリ	Alberto Spagnoli	
水中撮影	アルナルド・マッティ	Arnaldo Mattei	
	ジャンカルロ・フォルミキ	Giancarlo Formichi	
編集	ジャンフランコ・アミカッチ	Gianfranco Amicucci	
音楽	モートン・スティーヴンス	Morton Stevens	
	グイド＆マウリツィオ・デ・アンジェリス	Guido & Maurizio de Angelis	
出演	ジェームズ・フランシスカス	James Franciscus	ピーター・ベントン
	ヴィク・モロー	Vic Morrow	ロン・ヘイマー
	ミッキー・ピナテッリ	Micky Pignatelli	グロリア・ベントン
	ステファニア・ジロラーミ	Stefania Girolami	ジェニー・ベントン
	ジョシュア・シンクレア	Joshua Sinclair	ウィリアム・ウェルズ市長
	ティモシー・ブレント	Timothy Brent	ボブ・マーティン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ジャン・マルコ・ラリ	Gian Marco Lari	ウィリアム・“ビリー・ジョー”・ウェルズ・Ｊｒ	
トーマス・ムーア	Thomas Moore	マット・ローゼン	
マッシモ・ヴァンニ	Massimo Vanni	ジミー	
ロマノ・プッポ	Romano Puppo	ブライリー	（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.